

トキ舞ういしかわアクション

～トキが羽ばたくいしかわをめざして～

石川県は、本州で最後にトキが生息していた土地であることから、いしかわ動物園においてトキの飼育にとりくむとともに、動物園で生まれたトキを自然に帰す国のとりくみに協力しています。

トキの保護やトキを育む環境づくりの大切さをみんなが知り、行動(アクション)につなげることで、「トキが舞ういしかわ」の実現をめざします。

トキってどんなトリ？

顔は赤く、立派な冠羽

トキの特徴の一つが遠くからでも目立つ真っ赤な顔。後頭部の冠羽も長く立派です。

クチバシはセンサー

クチバシは先端まで神経が行き渡り、センサーのようになっていて、目で見なくても触れただけで、エサを探り当てることができます。

トキの食べ物

長いクチバシを泥の中に入れて、ドジョウやカエルなどを食べます。

羽はうすいピンク色

体は全体的に白っぽく、羽はきれいな薄いピンク色で、トキ色とも呼ばれています。最速で時速60kmで飛行します。

動物園フォトコンテスト
トキ里山館賞受賞作品「アモーレ」

- 分類：ペリカン目トキ科トキ属
- 学名：Nipponia nippon (ニッポニア ニッポン)
- 特別天然記念物、国際保護鳥

石川県とトキ

石川県とトキのつながりは深く、能登では昭和の初めころまで空を舞う姿がよく見られました。しかし、里山が荒れたことなどにより、その数は減り、1970年に穴水町で最後の1羽「能里」を保護し、新潟県の佐渡に移されたことで、本州からトキが姿を消しました。

石川県にトキが再び戻ってきたのは、40年後の2010年。鳥インフルエンザなどからトキを守るために、佐渡トキ保護センターで飼育していたトキのつがい2組を、いしかわ動物園に移送し、飼育が始まりました。



本州最後のトキ能里のはく製
(いしかわけんりつれきしはくぶつかんしゅうぞう
石川県立歴史博物館収蔵)



なぜ、トキは減ってしまったの？

トキは江戸時代頃までは日本全国で見られるごくありふれた鳥でした。

ところが、明治時代以降、人がトキの「美しい羽」や「肉」を求めて乱獲したことにより、数は減り、昭和時代以降、農薬の使用によるトキのエサとなるドジョウなどの減少、天敵（テン等）の増加、森林伐採によるねぐらの減少など、生息環境が悪化したことで減少に拍車がかかり、日本産のトキは絶滅してしまいました。

また、トキは田植え後の苗を踏み荒らす害鳥だったと言われています。



テンに食べられてしまったトキ
(石川県立歴史博物館収蔵)



トキが日本の空に戻るまで

本州最後のトキ「能里」と同じように、佐渡で野生のトキを保護し、繁殖にとりくみましたが、思うように進まず、日本産のトキは絶滅してしまいました。

1999年に中国から贈られたトキによる繁殖に初めて成功し、その後、飼育しているトキの数がふえたことで、国は、2003年からトキを自然に帰すととりくみをスタートしました。

佐渡では、自然環境を再生するととりくみが続けられ、2008年、トキが佐渡で放鳥されました。現在、400羽をこえるトキが野生で生息し、石川県にも、たびたび飛来しています。



佐渡での野生放鳥の様子
(環境省提供)



石川県でのトキの放鳥に向けた取組

国は、佐渡以外でもトキが生息できるようにするため、今年の5月10日に、トキの放鳥受入の候補地となる自治体の募集を開始しました。

石川県では、募集に先立ち、地域を挙げて放鳥を受け入れるため、協議会を設置し、能登の市町やJA、森林組合などと、今後、必要となる取組について話し合いました。

5月16日には、知事、能登の市長、町長が、能登地域を放鳥受入の候補地として、環境大臣に直接応募しました。

石川県では、トキが羽ばたくいしかわを目指して、関係者が一丸となって、トキと共生する里地づくりの取組を進めていきます。



放鳥受入の候補地の応募申請書を提出



いしかわ動物園でのトキ飼育

トキを鳥インフルエンザなどから守るため、佐渡以外にも全国4か所(東京都、石川県、出雲市、長岡市)でトキの飼育がおこなわれています。

いしかわ動物園でのトキを守るとりくみを見てみよう。

交尾・産卵(4月ごろ)



交尾から1週間～10日間ほどで産卵します

ふ化(5月ごろ)



オスとメスが交代で卵を温め、約28日でふ化します

巣立ち(6月ごろ)



ふ化から約40日で巣立ちします 10月ごろ、佐渡に移送します



環境省提供

佐渡では多くのトキが舞っています



トキの獣医師の仕事

動物園は動物の生態を観察したり、実際に動物に触れることで、みなさんに楽しい時間を提供してくれますが、絶えそうな命を守り、未来につなぐことも使命の1つです。

獣医師は、トキが健康に過ごせるように鳥インフルエンザなどの感染症の予防を行ったり、ケガや病気になったときには手術や注射をします。うまく卵から出られないヒナの手助けをすることもあります。



弱ったヒナの治療

獣医師の一言



トキのオスとメスはどうやって見分けるのでしょうか。外見ではオスの方がメスよりも少し体が大きく、嘴も少しだけ長く太いのですが、よく見比べないとわかりません。そこで採血を行い、血液を調べて性別を判定しています。



採血の様子



トキを育む環境をめざして

トキは、田んぼや水路などでエサをとり、集落近くの森や林で巣をつくるなど、里山をすみかとする鳥で、たくさんの生きものが生息する豊かな里山がないと生きていくことができません。トキが人といっしょに暮らすために必要な環境について、みんなで考えてみよう。

生きもの豊かな田んぼ

トキは田んぼや湿地などの水辺で、ドジョウやカエルなどの小さな生きものを食べます

トキを見守る環境づくり

野生のトキを見かけたらトキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう

健全な森林環境

トキは山間地の高い木(スギやマツなど)をねぐらにします

「トキがすむことができる環境」をめざして、身近な「アクション」にとりくもう！

次ページへ



トキ舞ういしかわアクションにとりくもう!

トキがすむことができる環境をめざして、身近な“アクション”にとりくもう!

このシートを読んで、家族や友だちなどまわりの人にトキの知識を**ひろめる**

トキの本を読んだり、インターネットを使用して、トキについてもっと**しらべる**

トキのえさ場である田んぼを守るため、石川県で作られたお米を**たべる**

いしかわ動物園や佐渡へ行き、本物のトキやトキがすむ環境を見て理解を**ふかめる**

生きもの調査や自然観察会に参加して、トキを育む環境に**ふれる**

トキが舞う石川の里山(イメージ)

トキクイズにチャレンジ!

トキのことがわかってきたかな? トキクイズに挑戦して、さらにトキに詳しくなろう! めざせトキ博士!

問題1

トキの飛行速度はどのくらい?

- ① 時速20km
- ② 時速60km
- ③ 時速120km



わからない問題があったらこのシートを復習しよう!

問題2

昔、日本でトキがすんでいたところは?

- ① 日本中
- ② 日本海側だけ
- ③ 石川県だけ

問題3

トキが減少してしまった原因は?

- ① 伝染病が流行したため
- ② 乱獲や森林伐採などのため
- ③ 外国に移動したため



問題4

放鳥受入の候補地として、国に応募した地域は?

- ① 石川県内全域
- ② 加賀地域
- ③ 能登地域



問題5

トキは主にどのような場所でエサをとっているか?

- ① 森林
- ② 田んぼ
- ③ 運動場

石川県生活環境部自然環境課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1 TEL:076-225-1476 FAX:076-225-1479
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

② : ㊦ ㊧ ` ③ : ㊨ ㊩ ` ② : ㊪ ㊫ ` ① : ㊬ ㊭ ` ② : ㊮ ㊯ 【トキクイズ】